

ラーニング・サポーター ♪ 8月のつぶやき -JWUラーニング・コモンズさくらより-

図書館 2階 JWU ラーニング・コモンズさくら(以下「さくら」と略)では、学科・専攻推薦を受けたラーニング・サポーター(本学大学院生)が学修相談を受け付けます。学修相談以外にもミニ講座の開催や「さくら」の活動支援をしながら、感じたこと、思ったことを「つぶやき」、本学学生の皆さんに学修相談に訪れてもらいたいと思っています。ラーニング・サポーターは「さくら」で皆さんをお待ちしています！

<8月のつぶやき♪INDEX>

- p1 合宿の思い出 @A.N.(物質・生物機能科学専攻博士課程前期2年) 8月17日 tweet
- p1 子どもの頃のタスク @M.A.(人間発達学専攻(児童学)博士課程後期3年) 8月6日 tweet
- p2 ファンタジースプリングス体験 @T.R.(英文学専攻博士課程前期2年) 8月14日 tweet
- p2 ベルばら観劇 @H.C.(相關文化論専攻博士課程前期2年) 8月22日 tweet

つぶやき1 ♪ 合宿の思い出

みなさん、こんにちは。毎日暑い日が続いていますがお元気でしょうか。そして夏休み真只中の方も多いのではないのでしょうか。私はあまり休みがなく、毎日コツコツと研究を進めております。私の研究室では、毎年夏に早稲田大学と山梨大学の共同研究室と合同の合宿を行い、研究発表を行っていき、先週無事に終了しました。なので、本日はこの合宿についてつぶやこうかと思えます。

3大学合同の合宿は早稲田大学の軽井沢セミナーハウスにて2泊3日の日程で開催されました。1-2日目は学生全員の発表、3日目は屋外でレクを行いました。自分の発表はとても緊張して、せっかく覚えた原稿も頭から飛んでいってしまいましたが、なんとか乗り越えることができました。先生方からは、評価をして頂けましたが、今回の発表の反省点をしっかりと次へ活かしていきたいと思えます。また、私にとって刺激的だったのは他大学の学生の発表でした。どの学生もとても分かりやすい資料・説明で、学ぶことばかりでした。残りの半年間、今回の合宿で学んだことを取り入れていきたいと強く思いました。また、3日目のレクはサッカーとソフトボールを行いました。大学を超えた学生間の交流ができてとても楽しかったです。

今回の合宿を通じて「もっと頑張らない」と思いましたので、夏休みも、後期もギアを上げて修了まで駆け抜けたしたいと思います。みなさんも素敵な夏休みの思い出ができますように…！！

理学研究科 物質・生物機能科学専攻 博士課程前期2年

◆ 経歴

本学 理学部 化学生命科学科 卒業

◆ 資格

教員免許(中高理科)

◆ 職歴

本学附属高等学校にて理科の非常勤講師

◆ 研究内容

β -MnO₂表面上でのPt(II)イオンの吸着・酸化還元反応機構

学修で悩んでいることがありましたら、気軽に相談に来てくださいね。一緒に考えましょう。お待ちしております！！



つぶやき2 ♪ 子どもの頃のタスク

このところ、やらなければならないことが溜まっている。片付いていないことがあるのに、次のタスクがやってくる、その繰り返しである。タスクと言いつつ運転免許更新などの、すぐやればいじやんとすることも含まれているので、自分の怠慢のせいだとわかっているが、やらなければならないことが何もない、ただその日いちにちを生きていればよかったころに戻りたいとよく思う。幼稚園から小学校低学年くらいまでは、そんな日々だったような

…と考えると、いやいやあの頃も忙しかったと思直す。習い事や勉強に、ではない。毎日、遊ぶことに全力投球してい

人間生活学研究科 人間発達学専攻 博士課程後期3年(児童学)

● 経歴

本学 家政学部児童学科 卒業
本学 家政学研究科児童学専攻(修士)卒業

● 資格

保育士/幼稚園教諭/小学校教員

● 研究分野

「向社会的行動(思いやり行動)」について研究
幼稚園や小学校にて参与観察を行い、質的分析を行っています

「教職は両立できるかな」
「卒論のテーマが決まらない」
「発表スライドを見てもらいたい」…
ちょっと誰かに相談したいなというときはありませんか。
皆さんと一緒に考え、答えを出すためのお手伝いをします♪



た。

14時くらいに幼稚園や小学校が終わって、習い事をしたり友達と遊んだりして帰宅する。ここまでは日々の生活であって、自分で決めたことではないせいとかタスクという認識はない。楽しかった思い出はあるが記憶はぼんやりとしている。帰宅してからが本番なのだ。2歳下の弟と「今日はあれの続きをしなきゃね」と、今日のタスク(!)を確認していざ取り掛かる。

ある時は、自転車を作ることが私たちのやるべきタスクだった。広告や新聞紙を丸めたり筒状にしたりして、それをセロハンテープでつなぎあわせる。人が乗れるほど頑丈なものを作ると意気込んでいた。また別の時期には、弟にサイズアウトして着られなくなった私の服を着せて、廊下でファッションショーをする、というのが流行った。短い髪の毛に大量のヘアピンをつけてポーズをとらせた覚えがある(弟も楽しかったはず...)。ロングランになったのは、大きいものからキーホルダーサイズのものまで、ぬいぐるみを50~60くらいかき集めて図鑑を作ること。一つ一つにつき、名前・番号・性別・身長(サイズを測った)・好きな食べ物などを考え、プロフィールを作成する。そのうち、完成した図鑑をもとに、誰が一番早くぬいぐるみの名前を言えるか競ったり、番号順に並べるタイムを測ったりする遊びへと変わった。

今思えば、生き物図鑑を覚えるならまだしも、家のぬいぐるみに名前をつけてそれを暗記するなんて何の意味もないことである。作った図鑑ももうどこかへ行ってしまったし、自転車づくりも出来上がった自転車そのものの印象は薄い。しかし、その工程こそが遊び、楽しくてしょうがないことであり、何かの意味を残すために遊んでいるわけではないのである。母はそれをわかっていたのか、大量のセロハンテープを用意したり洋服を引っ張り出したりしてくれるだけで、興味のないことを私たちに強制しなかった。「やらされていたら」、やってみたいという意欲は死んでいたと思う。

よく考えれば、私は今もその頃から変わっていない。何の意味があるのかも手探りで、誰に頼まれたわけでもない研究というタスクは、ぬいぐるみの図鑑を作っていた時間の延長にある気がするのだ。意欲をもって、やらなくてはならないことを片付けていくしかないようである。

つぶやき3♪

ファンタジースプリングス体験

暑い日が続いていますが、皆さんはどうお過ごしでしょうか。私は先日、東京ディズニーにあるファンタジースプリングスというエリアに行きました。今年の6月にオープンした、東京ディズニーシー8番目となる新たなテーマポートで、映画『ピーター・パン』、『塔の上のラプンツェル』、『アナと雪の女王』の3作品を題材としています。

友人に誘われて来園したのですが、事前に上述した3作品を改めて鑑賞したためより世界観に没入して満喫することができました。特に1953年に公開された『ピーター・パン』を観るのは大変しばらくぶりだったのですが、いつまでも大人にならない少年ピーター・パンや右から2番目の星にあるネバーランド、ネバーランドで生活するロスト・ボーイズ、真っ赤な顔をしたネバーランドのインディアンなど、興味深いキャラクターや疑問に感じる描写が多くあり新たな発見がありました。実際に乗ったアトラクション、「ピーター・パンのネバーランドアドベンチャー」は物語の冒険を追うようなかたちでありながら、自らも空を飛んだり、ドシンと着水したりする体験型アトラクションでした。映画と比較すると、ウェンディと人魚たちの関係性に違いがあったり、フック船長との海賊船での戦いのシーンで私たちも参加していたりとアトラクションの動きだけではない楽しさがありました。個人的にはロンドンの上空を飛ぶことができたのが楽しかったです。

映画『アナと雪の女王』の物語を体験できるアトラクション、「アナとエルサのフローズンジャーニー」とレストラン「アレンデール・ロイヤルバンケット」があるエリア一帯は、物語の舞台アレンデール王国の街並みや城が再現されており、アトラクションはもちろん、食事や街を歩いているだけでも映画の世界に入り込んだような体験ができます。

新エリア全てのアトラクションとレストランを体験するために私は朝早くから入園したため、近いうちに行く予定のある方は事前に下調べをして、せっかくなら映画も予習して存分に楽しめることをおすすめします。

つぶやき4♪ ベルばら観劇

暑い日が続いていますが、みなさん夏休みはいかがお過ごしですか？

文学研究科 英文学専攻

<p>自己紹介</p> <p>文学研究科 英文学専攻 博士課程前期 2年</p>	<p>研究対象</p> <p>アメリカ文学 ▶現代作家ポール・オースター</p>
---	---

ひとこと

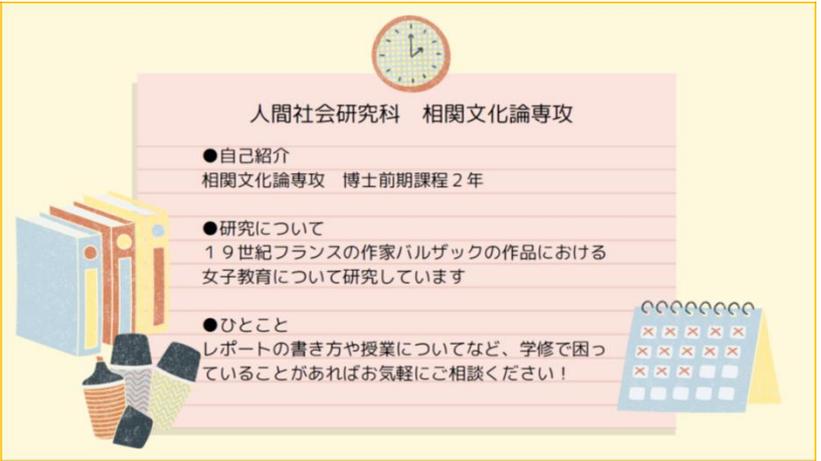
英文学科の学生、教職履修されている方はもちろん、お役に立てることであればその他学修相談もお待ちしています！

私は先日、「ベルサイユのばら」を観劇しに兵庫県の宝塚大劇場に行ってきました。ベルばらといえば、宝塚と聞いて多くの人が思い浮かべる演目の一つではないでしょうか。初演から50周年という記念すべき年に、人生で一度は見てみたいと思っていた作品を見ることができて嬉しかったです。また、私の研究している年代と近いということもあり興味深く見えました。

元々原作が好きでしたし、これまでに上演された過去作品も見て予習していったので、とても楽しむことができました。時代によって

舞台セットや脚本が変わるので雰囲気もそれぞれ違い、比べてみるのも再演されている作品を見る醍醐味のひとつですね。また、ドレスや舞台装飾が豪華で宝塚ならではの華やかで煌びやかな世界が広がっており、とても目が足りませんでした。個人的に面白いと感じたのは、マリーアントワネットの首飾り事件の首謀者であるジャンヌが肩に押されたVの烙印を民衆に見せる場面です。このVはフランス語で泥棒を表すvoleuseの頭文字からきているそうです。この烙印を押すというのは実際に行われていた刑罰で、罪状によって押される文字も違っていったそうです。ベルばらをきっかけに新しい知識を得ることが出来て勉強になりました。兵庫県は遠かったですが、興味のあることについて「行ってみよう！」と行動したことによって良い経験になりました。

夏休みも残り1か月となりましたが、みなさんも何か興味があることがあれば積極的に行動してみたいかがでしょうか。



人間社会研究科 関連文化論専攻

- 自己紹介
関連文化論専攻 博士前期課程2年
- 研究について
19世紀フランスの作家バルザックの作品における女子教育について研究しています
- ひとこと
レポートの書き方や授業についてなど、学修で困っていることがあればお気軽にご相談ください！



ラーニング・サポーターのつぶやき (2024年8月)

ホームページ https://lib.jwu.ac.jp/lib/lc_ls.html

編集: JWU ラーニング・commons さくら